

習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度(案)について

1 制度構築の背景及び目的

第 3 次男女共同参画基本計画(令和 2 年度～7 年度)では、「多様性」を強く打ち出した取り組みを進める中で、パートナーシップ制度についての検討を進めてまいりました。

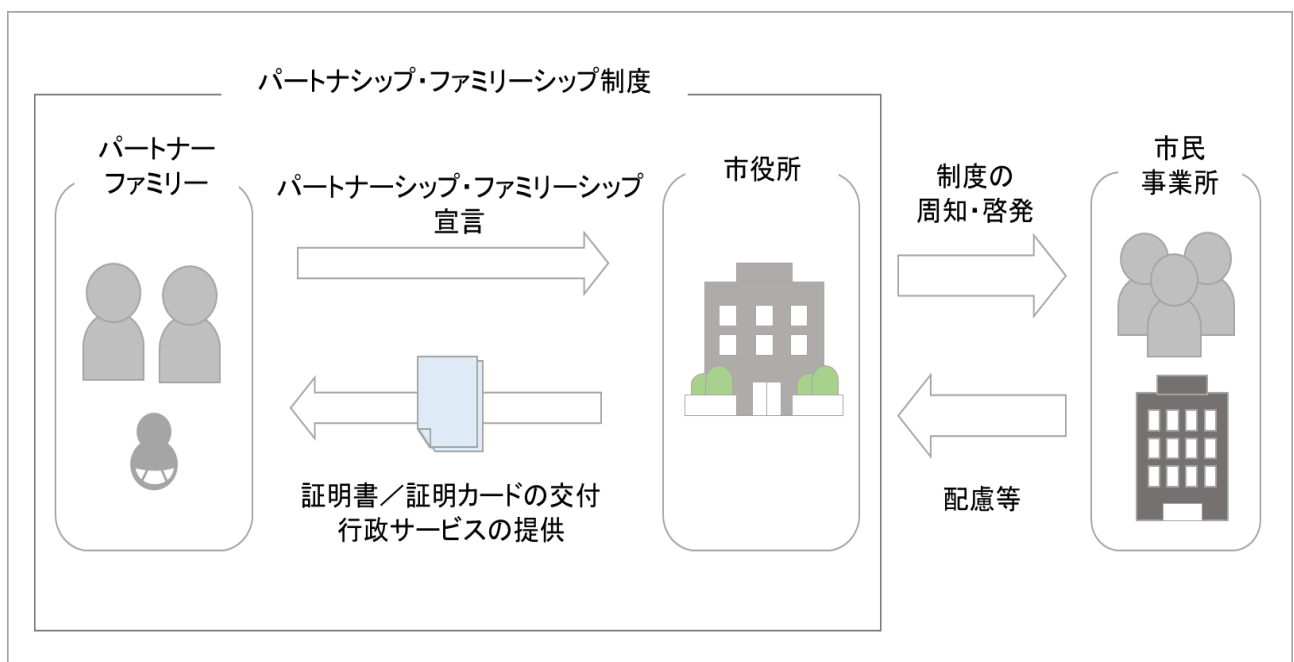
パートナーシップ制度とは、2 者が互いを人生のパートナーとして届け出をし、届け出があったこと等を市が証明する制度であり、全国で約 150 の自治体が行っています。

本市は、単身世帯の高齢者やひとり親で子育てをしている者など、家族のあり方が変化しつつある状況を捉え、地域における多様性と暮らしやすさの保障となるパートナーシップ制度を構築し、誰もが大切なパートナーや家族と共に暮らすことのできるまちの実現を目指すこととし、「習志野市パートナーシップ及びファミリーシップに関する要綱」に基づき実施しようとするものです。

2 制度の特徴

本制度は、相互の協力により継続的かつ家族的な共同生活を送ることを約した 2 者が市長にパートナーシップの宣言を行い、市はその宣言書を受領するとともに、宣言書受領証明カード(パートナー宣言証)を発行することを柱とする制度です。パートナーシップ関係にある 2 者の 18 歳未満の子も対象となります。

法律に基づく権利・義務は発生しませんが、本制度の導入により、行政手続における代理申請や市営住宅入居などの行政サービスの利便性を図るとともに、市民生活においては、家を借りることやパートナーの入院時の面会や病状説明を受けることなどができるよう、関係機関や民間事業者には制度の趣旨を浸透させ、効果を高めるための取組を進めてまいります。



3 検討経過

令和3年10月25日	MM会議(制度概要及び要綱案、スケジュールの確認)
10月26日	男女共同参画審議会(制度概要及び要綱案、スケジュールの確認)
11月19日	レインボー千葉の会 制度に伴う行政サービスの当事者ニーズについてヒアリング
11月下旬～12月上旬	先進自治体(11区市町)に制度運用に関するアンケート調査 千葉市にパートナーシップ制度の運用に関する聞き取り
11月	庁内における行政サービスの調査
令和4年1月11日	庁議(パブリックコメントの実施について)
1月26日	パブリックコメント実施に関する記者会見
2月15日～3月16日	パブリックコメント実施 広報習志野 2/15号掲載 市ホームページ掲載
3月16日	男女共同参画審議会(経過報告)

4 令和3年度第3回男女共同参画審議会であられたご意見 (要綱案について)

	ご意見	対応
富谷委員	資格を失ったけれども、カードを返してくれないから報告するという意味がわからない	失効したカードについては、文書による返還を求め、応じない場合は、悪用を避けるため交付番号を公表するものです。
土肥委員	第12条、13条 カードの有効期限を決めたらどうか	本制度は市として宣言書を受領したことを証するものであり、法的効果が生じるものでもないため、有効期限は設けておりません。
大谷委員	第12条 制度の悪用についてカードを返還させるだけでなく、認証という行為を取り消す行為が必要ではないか(無効条項、取消条項)	本制度は市として宣言書を受領したことを証するものであり、宣言者の関係を認証するものではありませんので、第6条第1項及び第7条第1項の文言を修正しました。制度の悪用を避けるため、カードの返還を求めることで対応いたします。

令和4年5月9日(月)男女共同参画センター
第1回習志野市男女共同参画審議会
事前配布資料 6-1

(制度の構築に関して)

	ご意見	対応
富谷委員	5月施行では準備期間が短い PRの仕方の問題	広報習志野5月1日号、6月1日号への記事掲載 啓発講座の実施
朝倉会長	パブコメ回答を示してほしい 今後の施策展開を考えてほしい	回答については別紙のように考えております。
大谷委員	外部の力を借りて向き合う努力が必要	レインボー千葉の協力を得て啓発講座を実施します。

5 今後のスケジュール

3月～4月	パブリックコメントの取りまとめ、制度案の修正
5月1日	広報習志野 性の多様性に関する啓発及び啓発講座(5/28(土))の案内
5月9日	男女共同参画審議会(パブリックコメントの回答案、要綱案の報告)
5月16日	庁議
	起案処理
6月(予定)	制度施行、告示